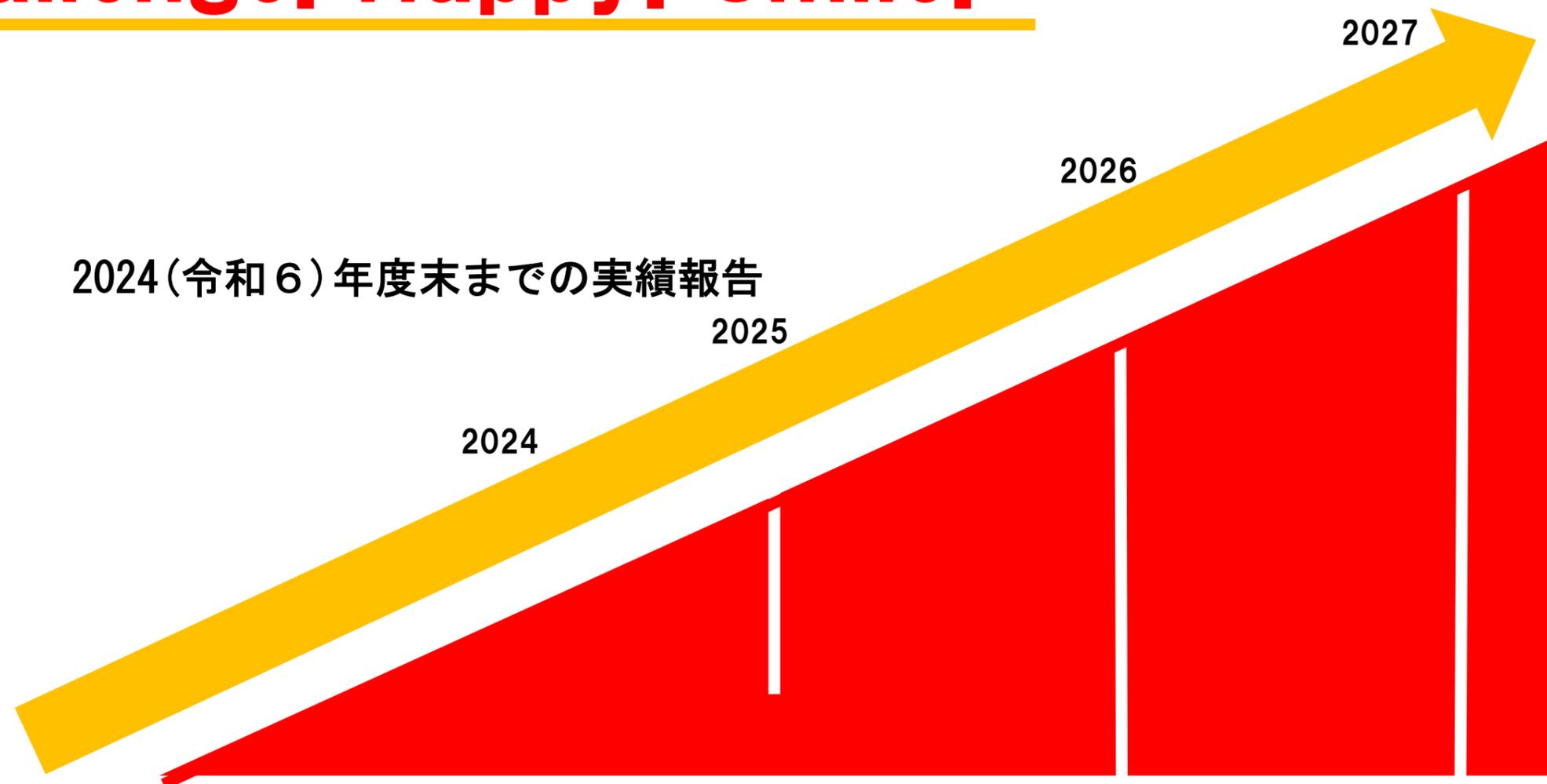


東浦町を**アップデート**！

～ここから、未来へ～

ロードマップ

Challenge! Happy! Smile!



1. すべての人が輝き、挑戦できるまちへ

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績				
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
1 (チャレンジできる場)	○町内での起業・創業支援など町内事業者の新規事業の取組を支援します。			実施	拡充			
	1	・新規就農者や新たな取組を行う意欲ある農業者を支援します。	政策企画部 地域創造部	◎	・新規就農者に対する補助を実施	・新規就農者に対する補助を実施 ・新規就農者に対する補助金の拡充 ・ふるさと納税返礼品への出品を提案		
	2	・商工会や地域金融機関と連携し、起業・創業をサポートするための支援をします。	地域創造部	◎	・起業セミナーを実施 ・創業支援ワンストップ窓口を設置 ・実践創業塾を実施	・起業セミナーを実施 ・創業支援ワンストップ窓口を設置 ・実践創業塾を実施		
	3	・創業に係る費用を補助することで起業者の負担軽減を図ります。	地域創造部	◎	・創業対策信用保証料補助を実施	・創業対策信用保証料補助を実施 ・飲食店創業支援補助の検討		
	4	・東浦町の特産品(新商品・新メニュー)づくりを支援します。	地域創造部	◎	・ご当地グルメ「ひがしうらRe-Boneグルメ」PR ・「ひがしうらRe-Boneグルメ」ぐるぐるキャンペーン夏トクを実施	・ご当地グルメ「ひがしうらRe-Boneグルメ」PR ・「ひがしうらRe-Boneグルメ」ぐるぐるキャンペーン夏トクを実施 ・「ひがしうらRe-Boneグルメ」の新メニュー「夢見るグラノーラ」が誕生		
	○多様な働き方の実現に向けてテレワーク施設等の設置を促進します。				調査	検討		
	5	・テレワークのニーズを調査し、設置場所等について検討します。	地域創造部	○	・企業訪問時にヒアリング等を実施 ・スタートアップ企業との面談時にヒアリング等を実施 ・コワーキングスペースの試行運用について検討	・企業訪問時にヒアリング等を実施 ・スタートアップ企業との面談時にヒアリング等を実施 ・コワーキングスペースの試行運用について検討		
	○飲食店等の商業施設の設置を促進します。				調査・検討	準備・ヒアリング	実施	
	6	・新規開業する商業施設への支援を検討します。	地域創造部 まちづくり部	○	・補助制度の検討	・民間バンクの調査を実施 ・飲食店創業支援補助の検討 ・他自治体の先行事例を調査		
	○魅力ある教育環境を整備します。(小学校・中学校の充実)				一部実施	拡大準備	全小中学校で導入	
	7	・先進的な取組(緒川小・卯ノ里小のオープンスクール)を基に、個別化・個性化教育を全小中学校に拡大します。	こども未来部	○	・個別化・個性化教育アドバイザー配置の準備	・個別化・個性化教育アドバイザーを配置 ・各小中学校の教職員に個別化・個性化教育について研修実施		
8	・国際交流の提携を進め、提携先との子ども同士の交流を進めます。	政策企画部 こども未来部	○	・友好都市提携先の検討	・在外領事館との意見交換・交流 ・友好都市提携候補自治体の情報収集 ・ALT(外国人英語指導助手)事業を通じた国際交流を実施			
9	・外国語指導助手を活用し、英語教育を充実させます。	こども未来部	◎	・町内版イングリッシュキャンプ(英語体験型イベント)の検討	・全小中学校に配置したALT(外国人英語指導助手)と児童生徒とのコミュニケーションを実施 ・町内版イングリッシュキャンプ(英語体験型イベント)の2025年度実施に向けた準備			
10	・学習支援コーディネーターを配置し、学生ボランティアと連携することで、わくわく算数教室などの補充学習を実施します。	こども未来部	◎	・わくわく算数・数学教室の実施	・わくわく算数・数学教室の実施 ・学生ボランティアを経験してもらい、教職の楽しさを知ってもらう取組を通じて、教職員を目指す大学生を育成			
11	・中学校区毎に小学校との連携を進めます(小中連携プログラム)。	こども未来部	○	・西部中と卯ノ里小が合同で学校運営協議会を実施	・西部中と卯ノ里小が合同で学校運営協議会を実施 ・中学校区ごとに児童生徒の行事、教職員の授業研究等の連携を実施(北部中学校区トライアングル連携など) ・東浦中学校区及び北部中学校区単位での学校運営協議会の実施を検討 ・教職員の相互交流・派遣等を検討			

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績							
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)			
(2) グローバル人材の育成と海外との交流	○若年層の海外留学・海外体験を支援するとともに、海外都市との交流による異文化体験(友好提携の検討)や町内での多文化交流を進めます。										
	12	・海外に出る若者を応援するため、パスポートの取得に係る経済的負担を軽減します。	総務部 こども未来部	○	検討 ・先進市町の情報収集	実施 ・先進市町の情報収集 ・若者の海外挑戦応援事業において、パスポート取得費等の渡航費補助を制度設計				実施	
	13	・企業や大学の講座メニューを活用し、グローバル人材の育成につながる講座を開催します。	ふくし文化部	◎	検討 ・企業見学とものづくり教室を開催 ・プログラミング講座を開催	実施 ・企業見学とものづくり教室を開催 ・プログラミング講座を開催 ・金融教育の講座を開催					
	14	・外国人住民と日本人住民が互いの文化に興味を持ち理解し合うため、交流機会を創出します。	地域創造部	◎	実施 ・於大まつりを見学 ・産業まつりハブースを出展 ・多文化共生講座を開催 ・多文化防災シンポジウムを開催 ・多文化料理教室を開催	実施 ・産業まつりハブースを出展 ・多文化共生講座を開催 ・通訳ボランティア講座を開催 ・多文化料理教室を開催 ・外国人交流の機会を検討	拡大				
	15	・海外都市との友好都市提携を検討します。	政策企画部	○	検討 ・友好都市提携先の検討	実施 ・友好都市提携候補自治体の情報収集	提携候補地との協議	提携・交流			
	○小中学校での英語教育の充実、起業家教育を導入します。										
	再掲	・国際交流の提携を進め、提携先との子ども同士の交流を進めます。	政策企画部 こども未来部		検討 ・外国語指導助手活用	実施 ・外国語指導助手活用				オンライン国際交流実施	
	再掲	・外国語指導助手を活用し、英語教育を充実させます。	こども未来部		検討 ・外国語指導助手活用	実施 ・外国語指導助手活用					
	16	・キャリア教育・起業家教育等を進め、子どもの「やりたい」を応援します。	こども未来部	◎	実施 ・3中学校でキャリア・スクール事業を実施	実施 ・生路小学校、3中学校でキャリア・スクール事業を実施 ・若者の海外挑戦応援事業を開始 ・個別化・個性化教育を推進し、起業家となるために必要なスキルを探究					
	17	・中学校の修学旅行先でのグローバル教育を進めます。	こども未来部	◎	検討 ・修学旅行先でのグローバル体験を検討	実施 ・グローバル教育に係る修学旅行費補助を検討 ・グローバル教育を推進するため、大阪・関西万博を修学旅行先(2025年度)として推薦 ・外部講師による大阪・関西万博の出前授業・事前学習を実施 ・修学旅行の班別行動時における外国人とのコミュニケーションの推奨	実施				
(3) 高齢者の活躍の場	○就労ニーズに合った場の創出(コミュニティでの活躍)や、子育て世帯を支援するためのマッチングを進めます。										
	18	・高齢者と活躍の場を結びつけるため、就労的活動支援コーディネーターを配置します。	ふくし文化部	○	実施 ・就労的活動支援コーディネーターを配置 ・地域における就労的活動の場を可視化した「助さん活動編」を発行	実施 ・就労的活動支援コーディネーターを配置 ・有償ボランティアの仕組みづくりについてシルバー人材センターへのヒアリングを実施					
	19	・シルバー人材センター等を活用し、高齢者の就労を支援します。	ふくし文化部	○	実施 ・町業務をシルバー人材センターへ委託(庁舎管理等)	実施 ・町業務をシルバー人材センターへ委託(庁舎管理等) ・子育て支援について、シルバー人材センターと協議					
	20	・子育て世帯を地域全体で支えます。	ふくし文化部 こども未来部	◎	実施 ・子ども食堂や住民発案のプロジェクトなど地域活動を支援 ・地域で活動する団体との協働 ・ファミリーサポートセンターを運営	実施 ・子ども食堂や住民発案のプロジェクトなど地域活動を支援 ・地域で活動する団体との協働 ・ファミリーサポートセンターを運営 ・「切れ目のないこどもまんなか応援サポーターのまち」を宣言(2024年9月)					
	○高齢者と子どもとが交流できる場をつくります。										
	21	・児童館に、子どもだけではなく、高齢者はじめさまざまな方の「居場所」機能を持たせ、充実させます。	こども未来部	○	検討 ・各児童館で、老人クラブはじめ地域の方々と情報交換会を実施	実施 ・地域の方に浴衣の着付けや盆踊り等の昔の遊びを教えてもらう場を提供 ・地域の方やボランティアが活動するイベントを児童館にて実施					
	22	・老人憩の家を多世代交流の場にします。	ふくし文化部	○	実施 ・各地区老人クラブ等へ老人憩の家の管理委託をし一般開放事業を実施	実施 ・各地区老人クラブ等へ老人憩の家の管理委託をし一般開放事業を実施 ・各老人クラブへ交流館化への意見聴取を実施、要綱改正(年齢要件撤廃等)の検討 ・交流館化に向けた、施設の改修(トイレ等)を検討					
	23	・小学校での学習活動(授業・放課後)における高齢者の参加を促します。	ふくし文化部 こども未来部	◎	実施 ・各小学校で老人クラブや高齢者による体験学習を実施(田植え、昔の生活等) ・緒川小学校で高齢者が下校時に見守り、小学生との交流を実施	実施 ・各小学校で老人クラブや高齢者による体験学習を実施(田植え、昔の生活等) ・片籠小学校の150周年式典に地域の高齢者を招待 ・緒川小学校で高齢者が下校時に見守り、小学生との交流を実施 ・北部中学校において、花ブレ(地域のお年寄りに花をプレゼントするボランティア)を実施 ・西部中学校において、地域の高齢者や障害者の方を交えた「ふくし交流」を実施					

2. 誰もが暮らしやすいまちへ

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(1)健康づくりと医療体制の充実	○安心して暮らせるよう医療・福祉・行政の連携体制を強化します。								
	24	・地域住民や関係機関と連携し、移動支援を含む生活支援を充実させます。	ふくし文化部 まちづくり部	○	実施 ・ふだんの暮らしの「ちょっと困った」をお手伝いする「ひがしうらおすそわけ隊」の活動を支援 ・「ウラ・うらら」の実施に向け、地域住民等と協議 ・コミュニティが主体となるライドシェア事業の検討				
	25	・地域の医療・介護の専門職が連携できるよう、在宅医療・介護連携推進事業を実施します。	ふくし文化部	◎	実施 ・ふくし向上ケアカンファレンスを開催 ・多職種連携研修会を開催 ・地域包括ケア推進会議を開催 ・在宅医療介護連携部会を開催 ・ICT・多職種連携ワーキングを開催	実施 ・ふくし向上ケアカンファレンスを開催 ・多職種連携研修会を開催 ・地域包括ケア推進会議を開催 ・在宅医療介護連携部会を開催 ・ICT・多職種連携ワーキングを開催			
	26	・健康増進や病気の予防を目的とした健康づくり教室等を開催します。	こども未来部	◎	実施 ・メタボ予防体操教室を開催 ・血糖コントロール講座を開催 ・女性のための若返り&美講座を開催	実施 ・メタボ予防体操教室を開催 ・血糖コントロール講座を開催 ・女性のための若返り&美講座を開催			
	27	・住民が主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。	こども未来部	◎	実施 ・運動指導講座を開催 ・東浦町健康づくり教室の受講を支援 ・いきいきマイレージ事業を実施	実施 ・運動指導講座を開催 ・東浦町健康づくり教室の受講を支援 ・いきいきマイレージ事業を実施 ・公共施設を使用する健康づくり団体に対する支援を検討 ・「施設使用料の減免ガイドライン」を策定・周知			
	28	・生活習慣病重症化に関する早期把握・早期対応やフレイル状態の早期把握・悪化防止に取り組みます。	こども未来部	◎	実施 ・各種検診を実施 ・特定健康診査及び長寿健康診査を実施 ・特定保健指導を実施 ・高齢者の保健事業、介護予防等の一体的実施事業を実施(糖尿病性腎症重症化予防と状態不明者対策、フレイル予防の啓発) ・介護予防教室を実施	実施 ・各種検診を実施 ・特定健康診査及び長寿健康診査を実施 ・特定保健指導を実施 ・高齢者の保健事業、介護予防等の一体的実施事業を実施(糖尿病性腎症重症化予防と状態不明者対策、フレイル予防の啓発) ・介護予防教室を実施 ・次年度フレイル予防教室の実施に向けてあいち健康プラザと協議			
	29	・予防医療を進めるため、町独自の予防接種補助を検討します。	こども未来部	◎	検討 ・受験生等に対するインフルエンザ予防接種補助事業の実施に向けた検討	実施 ・帯状疱疹ワクチン接種補助事業の実施 ・受験生等に対するインフルエンザ予防接種補助事業を実施			
	○スポーツ(eスポーツやアーバンスポーツ※を含む)を楽しめる環境づくりを進めます。 ※広い場所を必要としない、個人が気軽に始められるなどの理由により、都市住民が参加しやすいスポーツ(スケートボード・スポーツクライミング・バスケットボール3×3など)のこと。								
	30	・スポーツに親しみ、運動習慣を作るきっかけを創出します。	ふくし文化部 こども未来部	◎	実施 ・ひがしうら地域クラブを実施 ・ニュースポーツ体験会を実施	実施 ・ひがしうら地域クラブを実施 ・ニュースポーツ体験会を実施 ・スポーツフェスタを実施 ・モルックチャレンジカップを実施 ・知多北ビーチボールバレー、ベタンク大会を実施 ・新たなスポーツイベントの検討 ・オーシャンズウェルネスプログラムを実施(介護予防・運動習慣の定着を目指す取組み)			
	31	・eスポーツやアーバンスポーツ等の実施に向け、関係機関と連携・協力を検討します。	ふくし文化部	○	検討 ・先進自治体を視察・調査	実施 ・3×3やスケートボード等のイベント実施を検討 ・環境整備を検討			
32	・世界に挑む子どもたちを応援します。	ふくし文化部 こども未来部	◎	実施 ・全国大会、世界大会に出場する選手等に激励金を交付 ・全国大会、世界大会での上位入賞者の報告会を実施	実施 ・全国大会、世界大会に出場する選手等に激励金を交付 ・全国大会、世界大会での上位入賞者の報告会を実施 ・若者の海外挑戦応援事業を制度設計 ・活躍する選手等を紹介する場を検討				

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績						
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)		
(2)多様な生き方の尊重、多文化共生	○障がいのある方の自立を支援します。									
	33	・就労支援を促進することで、障がい者が社会の一員として活発に活動できるように努めます。	ふくし文化部 地域創造部	◎	実施 ・農福連携事業による農家と福祉施設とのマッチングを実施 ・町障がい者自立支援協議会働く場所開拓ワーキングの活動として、摘果ぶどうの収穫作業を実施	・農福連携事業による農家と福祉施設とのマッチングを実施 ・町障がい者自立支援協議会働く場所開拓ワーキングの活動として、摘果ぶどうの収穫・出荷作業を実施 ・食品加工会社と町内事業所の共同開発により、「ひがしうらRe-Boneグルメ」の新メニュー「夢見るグラノーラ」が誕生				
	34	・移動支援の充実により、障がい者の社会参加を促進します。	ふくし文化部 まちづくり部	○	実施 ・移動困難な障がい者に対し、タクシー料金の一部を助成 ・行政バス「う・ら・ら」運賃を助成	・移動困難な障がい者に対し、タクシー料金の一部を助成 ・行政バス「う・ら・ら」運賃を助成 ・コミュニティが主体となるライドシェア事業の検討				
	○外国人材の積極的な受入れを進めます。									
	35	・外国人住民が地域に溶け込めるよう、日本語教室の開催や多言語情報誌を発行し、言語サポートを実施します。	地域創造部 こども未来部	◎	実施 ・日本語教室開催 ・多言語情報誌「かけはし」発行 ・日本語適応教室を通して、言語サポートを実施(石浜西小学校、東浦中学校)	・日本語教室開催 ・多言語情報誌「かけはし」発行 ・外国人住民が地域に溶け込み、交流できるイベントを検討 ・日本語適応教室を通して、言語サポートを実施(石浜西小学校、東浦中学校)				
	36	・町内に住む外国人を企業とともに支援することを検討します。	地域創造部	○	検討 ・町内企業訪問時にヒアリング、情報収集 ・外国人を採用している企業に対し、地域の困りごとを相談	・町内企業訪問時にヒアリング、情報収集 ・企業に対して、文化の違いによる困りごとをチラシで啓発 ・外国人を採用している企業に対し、地域の困りごとを相談 ・外国人コミュニティに対し、困りごとを外国人相談員が支援				
	○ダイバーシティインクルージョン※D&Iの実現に向けた取組を進めます。 ※年齢や性別、国籍、学歴、特性などにとらわれない多様な人材が、お互いに認め合い、自らの能力を最大限発揮し活躍できること。									
	37	・パートナーシップ制度を導入します。	地域創造部	◎	検討 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の設計	実施 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始 ・愛知県内自治体間連携開始 ・大阪・京都・兵庫パートナーシップ制度自治体間連携ネットワークに参加				
	38	・広報紙や講座等を通じて、性的マイノリティについての理解促進を図ります。	地域創造部	◎	実施 ・パネル展「トランスジェンダーのリアル」を実施 ・東浦町教育フォーラム「LGBTQ+について考えよう」を実施	・町職員を対象としたLGBTQ+研修を実施 ・多様な性を理解するための職員ハンドブックを作成				
	39	・性別や年齢にとらわれず、町職員を採用します。	政策企画部	◎	検討 ・受験対象年齢を50歳までに拡大	実施 ・受験対象年齢を50歳までに拡大 ・試験時に外部アドバイザーを配置し、採用試験官に対してアドバイスを実施				

3. 子どもを優しく育むまちへ

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(1) 妊娠・出産負担の軽減・支援	○結婚や出産を望む人の希望がかなうよう、結婚・出産のしやすい環境づくりを進めます。								
	49	・結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新生活のスタートアップに係る費用を補助します。	こども未来部	○	実施 ・新婚世帯への補助を実施	・新婚世帯への補助を実施			
	50	・妊娠や出産の不安を軽減するため、利用者支援専門員の相談業務を実施します。	こども未来部	◎	実施 ・利用者支援専門員を配置し、相談業務を実施	・利用者支援専門員を配置し、相談業務を実施			
	51	・全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的相談機関として、こども家庭センターを設置します。	こども未来部	◎	検討 ・こども家庭センターの設置を検討	設置 ・こども家庭センターの設置に向けた準備・調整を実施			
	○出産費用の負担軽減を図ります。								
	52	・妊婦の健康保持増進を図るとともに、経済的負担を軽減するため、入通院時の医療費を補助します。	ふくし文化部 こども未来部	◎	実施 ・妊婦の医療費を補助	・妊婦の医療費を補助 ・多胎妊婦の妊婦健康診査に係る費用補助を拡大(5回分)			
	53	・不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、不妊治療に係る費用を補助します。	ふくし文化部	◎	実施 ・不妊治療を受けている夫婦の治療費を補助	・不妊治療を受けている夫婦の治療費を補助			
	54	・経済的負担の軽減のため、妊娠届出時と生後4か月までのこんにちは赤ちゃん訪問時に出産・子育て応援給付金を支給します。	こども未来部	◎	実施 ・出産応援給付金及び子育て応援給付金を支給	・妊娠時、出産後に妊婦のための支援給付を支給			
	55	・妊産婦健康診査及び新生児聴覚検査、乳児健康診査に係る費用や、多胎妊婦の妊産婦健康診査に係る費用などの経済的負担の軽減と安心安全な出産をサポートします。	こども未来部	◎	実施 ・妊産婦健康診査の費用を補助 ・新生児聴覚検査の費用を補助 ・乳児健康診査の費用を補助	・妊産婦健康診査の費用を補助 ・新生児聴覚検査の費用を補助 ・乳児健康診査の費用を補助 ・多胎妊婦の妊婦健康診査に係る費用補助を拡大(5回分)			
	56	・産後ケア事業、各種教室等を実施し、負担感のない出産に向けて支援します。	こども未来部	◎	実施 ・産後ケア事業を実施 ・マタニティ教室・おっぱい教室を開催 ・パパママ教室を開催	・産後ケア事業を実施 ・マタニティ教室・おっぱい教室を開催 ・パパママ教室を開催			
	○妊娠から出産に係るトータルサポートコンシェルジュ(相談窓口)を設置します。								
	57	・妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近に相談に応じ、必要な機関を紹介することで子育て世帯を応援します。	こども未来部	◎	検討 ・こども家庭センターの設置を検討 ・こども家庭支援員を配置し、相談事業を実施	設置 ・こども家庭センターの設置に向けた準備・調整を実施 ・こども家庭支援員を配置し、相談事業を実施			
	再掲	・妊娠や出産の不安を軽減するため、利用者支援専門員の相談業務を実施します。	こども未来部		実施				
	再掲	・全ての妊産婦・子育て世帯・子どもの一体的相談機関として、こども家庭センターを設置します。	こども未来部		検討	設置			
	58	・全ての妊婦・子育て家庭が孤立することなく安心して出産・子育てができるよう、伴走型の相談支援と経済的支援の一体的実施を継続します。	こども未来部	◎	実施 ・伴走型の相談支援と経済的支援の一体的実施を継続 ・ファミリーサポートセンターを運営 ・子育て支援ヘルパー事業を実施	・伴走型の相談支援と経済的支援の一体的実施を継続 ・ファミリーサポートセンターを運営 ・子育て支援ヘルパー事業を実施			

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績						
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)		
(2)子育て家庭への支援拡大、 多子世帯等への支援拡大、	68	・保育園、なかよし学園に登降園・保育士サポートシステムを導入します。	こども未来部	◎	準備 ・町立保育園全園に保育ICTシステムの導入を検討	導入 ・町立保育園全園に保育ICTシステムを導入し、保護者・保育士の利便性が向上				
	69	・民間の保育園や児童クラブなどの環境整備を検討します。	こども未来部	○	検討 ・新設民間保育所と連携 ・児童クラブの学校夏休み中、お弁当業者導入について保護者にアンケート実施	環境整備に向けた計画策定 ・町立保育園民営化の議論を実施 ・「東浦町立保育園の今後のあり方について」を策定 ・児童クラブにお弁当業者を導入 ・森岡小学校、片葩小学校、藤江小学校にて児童クラブを実施 ・民間保育園の誘致に向けた情報収集・動向把握				
	70	・登園負担を軽減するため、布団レンタルやオムツのサブスクリプション(定額の利用料を定期的に徴収してサービスを提供する仕組み)など手ぶら登園を検討します。	こども未来部	○	検討 ・各種サービスの情報を収集	実施 ・オムツのサブスク事業者と子育てで支援に関する連携協定を締結 ・お手拭きタオルの提供を検討 ・布団のレンタルを検討				
	○小中学生の子どもを持つ保護者の負担を軽減します。									
	再掲	・「切れ目のないこどもまんなか応援サポーターのまち(仮称)」を宣言します。	こども未来部		検討	実施				
	71	・要保護、準要保護児童生徒への就学援助を実施します。	こども未来部	◎	実施 ・要保護、準要保護児童生徒への就学援助を実施	実施 ・要保護、準要保護児童生徒への就学援助を実施 ・物価高騰対策のため、小学6年生及び中学3年生の就学援助世帯に就学援助を追加給付 ・中学3年生の就学援助世帯に進学・就職準備金の支給を検討				
	72	・校外学習で利用する貸切バス等の料金を保護者負担とせず、無償化を継続します。	こども未来部	○	実施 ・校外学習で利用する貸切バス等料金の無償化を実施	実施 ・校外学習で利用する貸切バス等料金の無償化を実施 ・貸切バス料金高騰のため、無償化の継続について検討				
	73	・小中学校副教材の保護者負担の軽減を進めます。	こども未来部	◎	実施 ・小中学校副教材の保護者負担の軽減を実施(知多の友、夏休みの友、若あゆ日記、道徳副教材、保健体育副教材等)	実施 ・小中学校副教材の保護者負担の軽減を実施(知多の友、夏休みの友、若あゆ日記、道徳副教材、保健体育副教材等)				
	74	・給食費の見直しとともに負担軽減(特に多子世帯への支援)を検討します。	こども未来部	○	検討 ・給食費の見直し(値上げ)を検討	実施 ・給食費改定(値上げ)※値上げ分は公費負担 ・国へ「学校給食無償化」を要望、国の動向把握				
	○成人までの医療費を無償化します。									
75	・子ども医療助成事業(通院・入院)の対象を18歳までに拡大します。	ふくし文化部	◎	検討 ・拡大に向け条例を改正	実施 ・18歳までの子どもの医療費を補助(2024年10月から)					
(3)子育てしながら就労する保護者を応援	○子どもを地域で見守る環境を整備します。									
	再掲	・「切れ目のないこどもまんなか応援サポーターのまち(仮称)」を宣言します。	こども未来部		検討	実施				
	76	・小学校の教室等の利用を検討・調整し、児童クラブの受入れの充実を進めます。	こども未来部	○	検討 ・片葩小学校にて継続して児童クラブ実施 ・その他小学校教室等の利用を検討	順次拡大 ・森岡小学校、片葩小学校、藤江小学校にて児童クラブを実施				
	再掲	・子育て世代の交流の場を通じて、保護者同士のつながりを深める活動を進めます。	こども未来部		実施					
	再掲	・保育園への送迎など、子育ての援助を必要とする方、援助したい方をマッチングさせ、子育てしやすい環境を整えます。	こども未来部		実施					
	77	・家庭、地域、学校が連携し、地域ぐるみで子ども育てる環境づくりを推進するため、コミュニティ・スクールを実施します。	こども未来部	◎	実施 ・全小中学校でコミュニティ・スクールを実施	実施 ・全小中学校でコミュニティ・スクールを実施 ・7/小中学で地域コーディネーターを委嘱 ・学校と地域が連携した取組、校内・地域の安全面について対話を実施 ・学校を核とした地域コミュニティづくりを推進 ・地区コミュニティと学校の関係強化を働きかけ ・地域学校協働活動推進員の増員を検討				
	78	・アフタースクールで開催される講座を充実させます。	こども未来部	◎	実施 ・多様な講座を実施(科学、ブックトーク、カラーリング、キンボール、調理実習、パステル画、アイロンビーズ、ペーパークラフト、習字、読書感想文、空き瓶で乾燥剤入れ、クリスマスツリーづくり、クリスマスリースづくり等)	実施 ・新たな講座開設に向け講師の発掘 ・新たな講座を実施(ニュースポーツ、調理、折り紙、万華鏡等)				
	79	・地域で子どもを見守るために学校施設を活用(地域に開放)します。	ふくし文化部 こども未来部	◎	検討 ・ひがしうら地域クラブを実施 ・学校体育施設開放を実施 ・地域コミュニティ・学校運営協議会・PTA等の主催イベントを学校施設にて実施	実施 ・ひがしうら地域クラブを実施 ・学校体育施設開放を実施 ・地域コミュニティ・学校運営協議会・PTA等の主催イベントを学校施設にて実施 ・学校施設の活用を検討(地域へのさらなる開放)				
80	・子育て世帯の町内企業への就労を支援するため、企業とのマッチングの場を創出します。	地域創造部	○	検討 ・企業へのヒアリングを実施 ・先行事例の情報収集	実施 ・ハローワークと連携した企業とのマッチング方法について検討 ・「ショートタイムワーク」という働き方を基にして、テレワークによる短時間雇用の推進事業を実施					

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(3)子育てしながら就労する保護者を応援	○保育園・児童館への全受入を目指します。								
	再掲	・「切れ目のないこどもまんなか応援サポーターのまち(仮称)」を宣言します。	こども未来部	△	検討	実施			
	81	・保育園の育休中の継続利用等を可能にします。	こども未来部	○	準備 ・0～2歳児の育休中の継続利用に向けて、町立保育園、民間園ともに協議	実施(年少児) ・3歳児以上の育休利用について、保育認定で取り扱うことに変更 ・0～2歳児の育休中の継続利用に向けて調整	拡大		
	再掲	・民間の保育園や児童クラブなどの環境整備を検討します。	こども未来部	△	検討		環境整備に向けた計画策定		
	82	・集団保育が可能な医療的ケア児等を受け入れるために必要な保育体制(看護師及び加配保育士の増員)の充実化を検討します。	こども未来部	◎	準備 ・医療的ケア児ガイドラインの策定、町医師会に説明 ・医療的ケア児入園に向けて看護師配置を決定	導入 ・医療的ケア児を指定町立保育園で預かり、看護師を配置			
	○愛知県が進める「休み方改革」に呼应し、小・中学校のラーケーションを推進します。								
	83	・事業者に対しラーケーションの制度を周知し、就労する保護者がラーケーションに伴う休みを取得しやすくなるなど、働く方の休み方改革、ワークライフバランスを促進します。	地域創造部 こども未来部	○	準備 ・周知方法について検討 ・町内企業への協力を依頼 ・町職員・教職員への取得を推奨	実施 ・チラシの作成や町ホームページでの周知を実施 ・町内企業への協力を依頼 ・町職員・教職員への取得を推奨 ・学校ホリデーでのイベント実施			
	84	・小中学校でラーケーションを実施し、ラーケーションを学びの場として活用します。	こども未来部	◎	実施 ・10小中学校で児童生徒がラーケーションを実施	実施 ・10小中学校で児童生徒がラーケーションを実施 ・愛知県の「ラーケーションの日」モデル事業に参画し、各小中学校に校務支援員を配置			
	85	・ラーケーション取得時の授業について、録画視聴できる環境づくりを進めます。	こども未来部	○	検討 ・授業の録画視聴の試行実施 ・試行実施の際の課題への対応策を検討	実施 ・黒板の記録共有や当日プリント配布を実施 ・タブレット端末の持ち帰りを促進し、視聴できる環境づくりを検討(録画視聴に向けた手順等)			

4. 災害時にも安心・安全なまちへ

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績						
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)		
「(一)地域コミュニティの強化」 「自助、互助、共助、公助」	○コミュニティ会員のメリットの拡大と、負担軽減・組織力強化に向けた方策を検討します。									
	86	・コミュニティ連絡協議会会議を毎月開催し、コミュニティの問題や懸念事項を議論し解決策を検討する機会等を提供します。	地域創造部	◎	実施 ・コミュニティ連絡協議会を開催	・コミュニティ連絡協議会を開催 ・コミュニティ連絡協議会にて町公式LINEを活用した電子回覧板の導入を検討				
	87	・転入者に役場窓口で直接働きかけを行い、加入を促進するとともに、各地区コミュニティセンター窓口でのコミュニティ入会を進めます。	総務部 地域創造部	◎	実施 ・転入・転居時に住民課窓口でコミュニティ入会案内を配布 ・地区コミュニティセンターでコミュニティへの入会受付を実施	・転入・転居時に住民課窓口でコミュニティ入会案内を配布 ・地区コミュニティセンターでコミュニティへの入会受付を実施				
	88	・情報伝達システム(町内一斉連絡網)の導入を検討します。	政策企画部 総務部 地域創造部	○	検討 ・町公式LINEの機能拡充を検討	実施 ・町公式LINEの機能拡充を実施 ・コミュニティ連絡協議会にて町公式LINEを活用した電子回覧板の導入を検討				
	89	・放課後児童クラブなど各世代の居場所づくりにコミュニティの関わりを促進します。	地域創造部	○	検討 ・子どもたちへの居場所づくりを検討	実施 ・コミュニティセンターで学習室を開放 ・コミュニティセンターで講座を実施(着付け講座、夏休みこどもポスター教室等)				
	90	・コミュニティイベントへの支援を行い、地域コミュニティの強化を図ります。	地域創造部	◎	実施 ・コミュニティ推進協議会のイベント活動等を支援	・コミュニティ推進協議会のイベント活動等を支援				
	○消防団、防災組織を強化します。									
	91	・消防団の加入促進、処遇改善を図ります。	総務部	◎	実施 ・消防団観閲式等行事の改廃 ・町ホームページ・イベント等において消防団員加入促進に向けた啓発活動を実施	・町消防操法大会における一部競技の見直し及び観閲式の廃止 ・町ホームページ・イベント等において消防団員加入促進に向けた啓発活動を実施				
	92	・地域防災力の向上を図ります。	総務部	◎	実施 ・地区防災計画策定 ・ワークショップ実施・参加 ・車中泊避難所を指定 ・防災運動会を実施(生路、藤江地区)	・自主防災会において防災訓練を実施 ・地区防災計画策定に係る自主防災会への支援を実施 ・町総合防災訓練にて森岡地区と合同で応急給水訓練・ペット避難訓練を実施 ・防災運動会を継続(藤江地区)				
	93	・災害リスクの周知や災害危険箇所の明示を進めます。	総務部 まちづくり部 インフラ整備部	○	検討 ・津波等のハザードの周知看板等の設置を検討 ・土砂災害警戒区域啓発看板を設置 ・ため池ハザードマップをホームページで周知 ・ため池ハザードマップの周知方法を検討	実施 ・津波等のハザードの周知看板等の設置を検討 ・土砂災害の恐ろしさを伝えること等をテーマとした絵画、作文募集を実施 ・町広報紙、町ホームページ及び公開型GISにため池ハザードマップを掲載				

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(2)水害や地震への備えの充実	○防災・減災対策のハード整備を進めます。								
	94	・下流域の被害防止のため、農業用ため池の耐震化や洪水吐の改修を進めます。	インフラ整備部	○	実施 ・上ノ池の耐震工事を実施 ・本坪池の洪水吐の実施計画を実施	・上ノ池の耐震工事を実施 ・本坪池の洪水吐工事を実施 ・雁狭間池の洪水吐工事及び馬池の耐震工事にかかる実施設計を実施 ・泉ヶ池の現地調査を実施			
	95	・農業用排水機場の適正な維持管理及び更新に努めます。	インフラ整備部	○	実施 ・生路排水機場のオーバーホールを実施	・成実新田排水機場のオーバーホールを実施 ・村木江川排水機場の更新に向けた現地調査を実施			
	96	・公共施設を利用した雨水貯留浸透施設の整備、田んぼダムの取組や農業用ため池の活用により、下流域の浸水の防止を図ります。	インフラ整備部 各施設管理者	○	実施 ・豪雨時のため池の水位調整を実施	・豪雨時のため池の水位調整を実施 ・農家に田んぼダムのPRを実施			
	97	・雨水貯留浸透施設の設置補助制度を継続するとともに、住民の皆さんに積極的にPRして意識啓発や設置を促進します。	インフラ整備部	○	実施 ・産業まつり、町広報紙等にてPRを実施	・産業まつり、町広報紙等にてPRを実施 ・住宅メーカーへのPRを実施			
	98	・水路の適正な管理を実施します。	インフラ整備部	◎	実施 ・水路浚渫、調整池草刈、水路補修工事を実施	・水路浚渫、調整池草刈、水路補修工事を実施			
	99	・公共下水道雨水幹線及び雨水ポンプ場の整備並びに適正な維持管理を実施します。	インフラ整備部	◎	実施 ・維持管理工事等を実施	・ポンプ場の浚渫を実施(緒川、藤江、森岡)			
	100	・避難施設として小中学校体育館への空調導入を検討します。	こども未来部	◎	調査・検討 ・事例収集や支援メニューの検討を実施	・空調方式、断熱対策、発注方式等を検討し、現場調査や事例調査を実施 ・全小中学校の設計業務を開始	順次終了		
	○防災・減災対策のソフト整備を進めます。								
	101	・新たな防災情報に対する体制強化を図ります。	総務部	◎	検討 ・南海トラフ地震臨時情報対応マニュアルの検討	・南海トラフ地震臨時情報対応マニュアルの作成(2025年3月から運用開始)	運用		
	再掲	・情報伝達システム(町内一斉連絡網)の導入を検討します。	政策企画部 総務部 地域創造部	◎	検討	実施			
	102	・町職員の非常配備体制を強化します。	総務部	○	実施 ・BCP(業務継続計画)等における対応マニュアルの整備	・BCP(業務継続計画)等における対応マニュアルの整備・訓練を実施			
	103	・職員の町内居住手当の増額を検討します。	政策企画部	△	検討 ・町内居住手当の検討	・愛知県と協議を行い、町内居住手当を含む新たな手当を検討	実施		

5. 自立した元気なまちへ

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績						
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(1) 企業・商店の発展支援	○町内事業者の新分野への進出を支援します。									
	111	・新分野への進出を目指す町内事業者に補助金交付等の支援をします。	地域創造部	◎	実施 ・設備投資、販路開拓等補助を実施 ・小規模事業者設備投資等補助を実施 ・国・県等の支援事業を把握・紹介	実施 ・設備投資、販路開拓等補助を実施 ・小規模事業者設備投資等補助を実施 ・国・県等の支援事業への申請を支援				
	再掲	・新規就農者や新たな取組を行う意欲ある農業者を支援します。	政策企画部 地域創造部		実施	拡充				
	再掲	・商工会や地域金融機関と連携し、起業・創業をサポートするための支援をします。	地域創造部		実施					
	再掲	・創業に係る費用を補助することで起業者の負担軽減を図ります。	地域創造部		実施					
	再掲	・東浦町の特産品(新商品・新メニュー)づくりを支援します。	地域創造部		実施					
	再掲	・新規開業する商業施設への支援を検討します。	地域創造部 まちづくり部		調査・検討	準備・ヒアリング	実施			
	○スタートアップ企業への支援充実と企業誘致を進めます。									
	112	・本町のフィールドをステーションAI、あいちデジタルヘルスコンソーシアムなどを通じてスタートアップ企業等へ提供し、公民連携で実証実験を行うことで、企業と行政が共に地域課題を解決していく仕組みを検討します。	地域創造部	○	検討 ・ステーションAIと連携したスタートアップ出張相談会を開催 ・経営課題等解決型企業等マッチング支援事業を実施 ・ステーションAIとウェルネスバレー推進協議会が覚書を締結	準備 ・ステーションAIと連携したスタートアップ出張相談会を開催 ・経営課題等解決型企業等マッチング支援事業を実施 ・AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM2024に参加 ・デジタルヘルスコンソーシアムへ参加し企業と連携 ・スタートアップ関係機関が実施するビジネスピッチ等に参加				
	113	・県企業庁と連携し、企業用地の確保を進めます。	まちづくり部	○	検討 ・県企業庁と連携して造成計画を検討 ・地権者の同意書を収集 ・ウェルネスバレー地区における用地活用を検討	準備 ・県企業庁と連携して造成計画及び採算性を検討 ・地権者の同意書を収集 ・ウェルネスバレー地区における用地活用を検討				
	114	・進出を希望する企業へ用地を紹介する仕組みを構築します。	地域創造部	◎	実施 ・工場等用地情報を町ホームページで公開 ・工場等用地情報を求めている企業に対しヒアリングを実施	実施 ・工場等用地情報を町ホームページで公開 ・工場等用地情報を求めている企業に対しヒアリングを実施 ・企業が求める工場等用地の確保を支援				

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
3 都市機能のコンパクト化	○既存市街の有効活用と鉄道駅を活かした都市機能の立地適正化を図るとともに、コンパクトで移動しやすいまちづくりを進めます。								
	123	・持続可能なコンパクトなまちづくりを進めます。	まちづくり部 インフラ整備部	◎	実施 ・立地適正化計画に基づく届出制度を運用	実施 ・立地適正化計画に基づく届出制度を運用 ・空き地等を利用した飲食店の創業を支援 ・名古屋三河道路の計画に合わせた道路ネットワーク及び土地利用を検討			
	124	・交通弱者の方でも安心して社会活動に参加していただくため、公共交通の維持存続を目指します。	まちづくり部	○	実施 ・回数券共通利用を実施(行政バス「う・ら・ら」の回数券をバスやタクシーでも利用可能) ・交通事業者の担い手確保へ協力	実施 ・回数券共通利用を実施(行政バス「う・ら・ら」の回数券をバスやタクシーでも利用可能) ・公共交通の維持存続のため、乗務員募集のチラシやパネルを設置(産業まつりでのチラシ配布、公共交通パンフレットの掲載等)			
	125	・利用促進事業やモビリティ・マネジメントを実施し、住民によって支えられる公共交通を目指します。	まちづくり部	◎	実施 ・乗り方教室等を開催 ・公共交通について町広報紙での啓発活動	実施 ・乗り方教室等を開催 ・エコモビ教室を開催 ・公共交通について町広報紙での啓発活動 ・公共交通パンフレットの作成 ・行政バス「う・ら・ら」のダイヤに合わせた事業実施 ・「ウラ・うらら」の実施に向け、地域住民等と協議			
	126	・行政バス「う・ら・ら」の運賃体系について検討するとともに、近隣市町との相互乗り入れを拡大します。	まちづくり部	○	検討 ・運賃体系、近隣市町との相互乗り入れについて検討	検討 ・運賃体系、近隣市町との相互乗り入れについて検討 ・乗り入れている関係自治体と運賃料金協議会を開催 ・近隣自治体と乗換可能拠点を増加(2024年10月ダイヤ改正)			
	127	・行政バス「う・ら・ら」の駅乗り入れなど、住民のニーズに応じた運行ルートを目指します。	まちづくり部	◎	異ヶ丘駅乗り入れ検討 ・住民グループインタビューの開催 ・運行経路の確定	実施 ・ダイヤ改正を実施し、名鉄異ヶ丘駅の乗り入れを実現 ・各駅を拠点とした行政バス「う・ら・ら」のダイヤ改正を実施			
	128	・新たなニーズに対応した持続可能な地域公共交通体系の構築に取り組みます。	まちづくり部	○	検討 ・交通空白エリアの解消について、情報収集	検討 ・交通空白エリアの解消について、ライドシェア等に向けた実証運行の実施を協議			
	○適切な公共施設の再配置とマネジメントを進めます。								
	129	・持続可能な公共施設の整備及び適切な維持管理を実施します。	各施設管理者	○	実施 ・個別施設計画の見直しを行い、予算・実施計画へ反映	実施 ・個別施設計画の見直しを行い、予算・実施計画へ反映 ・公共施設の整備・管理を円滑に行うことを可能とする組織再編の準備			
	130	・小学校を放課後児童クラブに活用するなど、公共施設の多面的利用を進めます。	こども未来部	◎	検討 ・児童クラブでの小学校教室等の利用を検討 ・公共施設再配置計画による方針の提示 ・住民懇談会による説明を実施	実施 ・森岡小学校、片葩小学校、藤江小学校にて児童クラブを実施 ・児童クラブの他、ひがしうら地域クラブ(各中学校)、学校体育施設開放、地域イベント活用といった多面的利用を実施 ・施設再編の検討材料として、公共施設リストを活用			
	131	・東浦町公共施設再配置計画を策定します。また、計画に基づく施設整備計画等の策定を目指します。	政策企画部	◎	再配置計画策定 ・東浦町公共施設再配置計画を策定	基本構想・基本計画策定 ・森岡拠点施設基本構想・基本計画の策定に向けた準備 ・東浦中学校・東浦文化広場基本構想の策定に向けた準備			
	○必要な宅地の確保と移動しやすい道路整備を進めます。								
再掲	・土地区画整理事業を支援します。	まちづくり部		実施					
132	・都市計画道路の整備や道路改良を実施します。	インフラ整備部	◎	実施 ・都市計画道路の設計等の実施(緒川南北線、養父森岡線、藤江線) ・道路改良工事の実施(石浜152号線、生路106号線等)	実施 ・都市計画道路の設計等の実施(養父森岡線、藤江線) ・道路改良工事の実施(吉田線、生路47号線、緒川92号線等)				
○利便性の高い駅前整備を進めます。									
133	・駅の利便性向上のための環境整備を進めます。	まちづくり部	◎	検討 ・東浦駅西側駅前広場の整備に向けて詳細設計を実施	実施(東浦駅西側駅前広場再整備) ・東浦駅西側駅前広場の整備着手 ・各駅を拠点とした「う・ら・ら」のダイヤ改正	終了 検討			
134	・異ヶ丘駅の利便性向上に向け知多市・阿久比町との協議を進めます。	まちづくり部	○	準備 ・異ヶ丘駅前自転車駐車場連絡会で意見交換	実施 ・異ヶ丘駅前自転車駐車場連絡会で意見交換				

6. 地域に誇りと愛着を持てるまちへ

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
1 要 着	○自然との共生、循環型社会の実現を進め、地域の誇り(自然、伝統、住みやすさ)の再認識を促します。								
	135	・環境調査や環境パトロールを実施し、公害の未然防止、不法投棄の抑制などに努めます。	地域創造部	◎	実施 ・環境監視員によるパトロールを実施 ・水質調査を実施 ・道路騒音調査を実施	・環境監視員によるパトロールを実施 ・水質調査を実施 ・大気調査を実施 ・道路騒音調査を実施			
	136	・地域の自然に親しむための観察会を実施するなど、環境学習を充実させます。	地域創造部	◎	実施 ・自然観察会を実施	・自然観察会を実施			
	137	・自然環境の保全活動を行う団体等を支援します。	地域創造部	◎	実施 ・保全・育成の会会議を実施 ・保全活動に必要な費用の補助を実施	・保全・育成の会会議を実施 ・保全活動PRイベントを実施 ・保全活動に必要な費用の補助を実施			
	138	・景観まちづくりのあり方について、検討を続けます。	まちづくり部	◎	実施 ・景観まちづくり委員会を実施 ・産業まつりでのPR活動を実施 ・景観コンテストを実施	・景観まちづくり委員会を実施 ・産業まつりでのPR活動を実施 ・景観コンテストを実施 ・景観まち歩きを実施			
	139	・東浦紹介(ロケできる場所、季節の風景、映えスポットなど)を作成し、メディアや新規居住者などに配布します。	政策企画部 地域創造部 まちづくり部	◎	町制75周年要覧作成 ・配布媒体について検討 ・季節ごとに町内スポットを撮影 ・町勢要覧や観光ガイドブックを活用	要覧を活用したPR ・景観マップ作成に向けた準備 ・季節ごとに町内スポットを撮影 ・町勢要覧や観光ガイドブックを活用			
	○地域で活動する担い手を確保します。								
	140	・ボランティアに関する情報や活動の場を提供します。	地域創造部	◎	実施 ・総合ボランティアセンターなないろを運営 ・かわら版(総合ボランティアセンター広報紙)を発行	・総合ボランティアセンターなないろを運営 ・なないろフェスタを実施 ・かわら版(総合ボランティアセンター広報紙)を発行			
	141	・ボランティア活動支援交付金を交付し、活動を支援します。	地域創造部	◎	実施 ・ボランティア活動支援交付金を交付	・ボランティア活動支援交付金を交付(件数拡大)		終了	支援のあり方を検討
	142	・町広報紙及び各種SNSを活用し、幅広い情報を積極的に発信します。	政策企画部	◎	実施 ・町広報紙を発行 ・町公式Xにて町関連情報を発信	・町広報紙を発行 ・町公式Xにて町関連情報を発信 ・町公式LINEの機能拡充を実施			
	143	・住民が東浦町について考える機会を創出し、地域社会への愛着とまちづくりへの興味を醸成します。	政策企画部 ふくし文化部 地域創造部	◎	若者会議実施 ・各団体の総会等での情報発信・意見交換 ・若者会議の開催 ・各団体の総会等での情報発信・意見交換	世代を広げた実施 ・住民懇談会を開催 ・地区実態点検を実施 ・出前講座を実施 ・各団体の総会等での情報発信・意見交換			

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
3 地域 プライド の 醸 成	○東浦町をふるさとと思ってもらうための子どもたちへの教育を充実させます。								
	155	・各学校で実施する地域の方との交流活動などを通して、児童生徒が地域へ関心が高められる教育を実施します。	こども未来部	◎	実施 ・地域の方による体験活動を実施 ・社会科副読本(地域のことを学習する教材)を活用した授業を実施 ・小学校社会科副読本を改訂	・地域の方による体験活動を実施 ・地域のふるさとガイドの協力を得て、町たんけんを実施(各小学校) ・社会科副読本(地域のことを学習する教材)を活用した授業を実施 ・中学校社会科副読本の改訂準備 ・中学校社会科副読本を東浦町の電子図書館に掲載			
	156	・コミュニティスクールの中で、地域と子どもたちの関わりを増やします。	こども未来部	◎	検討 ・地域の防災ボランティアと防災に関する学習を実施(各小学校) ・(花プレ)ボランティアを実施(北部中学校) ・図書室の蔵書点検のボランティアを実施(片葩小学校) ・小中学生がコミュニティまつりでボランティアを実施	実施 ・地域の防災ボランティアと防災に関する学習を実施(各小学校) ・地域の方と学校での困りごと解決を実施(各小学校) ・地域学校協働活動推進員の増員を検討 ・小中学生がコミュニティまつりでボランティアを実施			
	○東浦町の知名度向上を図ります。								
	157	・「ほどよい町」をアピールし、ひがしうらの知名度の向上を目指します。	政策企画部 地域創造部	◎	検討 ・ほどよい町のPRチラシを作成・配布	実施 ・ほどよい町のPRチラシを作成・配布 ・各種講演会にてほどよいまち東浦のPRを実施 ・「ほどよい町」を各種媒体に記載しPR			
	再掲	・東浦紹介(ロケできる場所、季節の風景、映えスポットなど)を作成し、メディアや新規居住者などに配布します。	政策企画部 地域創造部 まちづくり部		町制75周年要覧作成	要覧を活用したPR			
	158	・各種メディアに東浦町を売り込み、ロケ・取材等に協力します。	政策企画部 地域創造部	○	実施 ・適宜情報発信を実施 ・愛知県知事記者会見での広報を実施 ・愛知県政記者クラブへ情報提供を開始	・町長定例記者説明会を開催 ・愛知県政記者クラブへ情報提供を実施			
	159	・愛知駅伝で上位入賞を目指します。	ふくし文化部	◎	実施 ・選手選考会実施 ・チームトレーニング実施	・選手強化のため選考会の開催回数を増加(3回⇒4回) ・愛知駅伝町村の部で3位入賞			

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(4) 循環型社会の実現	○「捨てる」を減らし、「モノを循環」させる取組を進めます。								
	160	・温室効果ガスの排出削減に資する次世代自動車の購入や住宅用地球温暖化対策機器の購入に係る費用を補助します。	地域創造部	◎	実施 ・次世代自動車購入費補助を実施 ・住宅用地球温暖化対策機器設置費補助を実施	・次世代自動車購入費補助を実施 ・住宅用地球温暖化対策機器設置費補助を実施 ・次世代自動車購入費補助及び住宅用地球温暖化対策機器設置費補助について、補助内容の一部拡大を検討			
	161	・「ゼロ・カーボンシティ」を宣言し、住民・事業者等の温室効果ガス排出削減に向けた行動変容を促すための取組を実施します。	地域創造部 こども未来部	◎	検討 ・第3次東浦町の環境を守る基本計画 中間見直しを前倒しし、2024年度中に行うことを検討 ・住民意識調査を実施	実施 ・第3次東浦町の環境を守る基本計画 中間見直しを実施 ・「ゼロ・カーボンシティ」を宣言 ・碧海信用金庫とカーボンニュートラルの実現に向けた取組に関する連携協定を締結 ・東邦ガス株式会社とカーボンニュートラルの実現に向けた取組に関する連携協定を締結 ・中部国際空港とSAFに関する協定を締結 ・学校給食配送車にFC(水素燃料電池)トラックの導入を検討			
	162	・資源循環の推進と住民の利便性の向上のため、回収品目の集約・再編や回収場所(施設)を充実させます。	地域創造部	◎	実施 ・森岡コミュニティセンターで、資源ごみ拠点ステーションの試行開始	・森岡コミュニティセンターで、資源ごみ拠点ステーションを設置 ・おもちゃの回収を実施 ・スギ薬局の店舗でペットボトル回収を実施 ・分かりやすい分別にすることを検討 ・拠点回収場所の拡大を検討			
	163	・民間業者と連携し、不用になった家庭用品等のリユースを促進します。	地域創造部	◎	検討 ・リユース事業開始に向けた検討	実施 ・「メルカリshops」を利用した収集業者による粗大ごみリユースを実施 ・家庭から出た製品プラスチック及びおもちゃのリユース販売を実施 ・町物品のリユースを実施			
	164	・資源循環を推進するため、ペットボトルの水平リサイクルに取り組みます。	地域創造部	◎	協定締結 ・コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社と株式会社Mizkanと水平リサイクルについて協定締結	水平リサイクル開始 ・協定によるペットボトルの水平リサイクルを実施 ・提携事業者による環境教育ワークショップを開催し、環境学習を推進			
	165	・ごみの減量のため、生ごみの堆肥化・自家処理を推奨します。	地域創造部	◎	実施 ・アスパ(発酵合成型有機肥料)を配布 ・キエーロ(生ごみ処理機)を紹介	・アスパ(発酵合成型有機肥料)を配布 ・キエーロ(生ごみ処理機)を紹介 ・産業まつりで、キエーロ(生ごみ処理機)の展示を実施 ・可燃ごみの名称変更を検討			
	166	・行政バス「う・ら・ら」の車両について、温室効果ガスの排出削減に資するEVバスを導入します。	まちづくり部	○	検討 ・車両と充電設備に対する情報収集・検討(補助金活用等)	実施 ・EVバスを含む環境配慮型先進バスに関する情報収集			
	○「高根の森」や「自然環境学習の森」など里地里山を保全します。								
	167	・里地里山の利活用状況や現在の姿を発信します。	まちづくり部 地域創造部	◎	準備 ・高根の森及び飛山池を観察し、ホームページで魅力の発信 ・自然環境学習の森の保全活動の様子や取組内容をホームページで公開	実施 ・高根の森及び飛山池を観察し、ホームページで魅力の発信を実施 ・高根の森で伐採した木を無料配布し、資源の有効活用を促進 ・自然環境学習の森の保全活動の様子や取組内容をホームページで公開			
168	・里地里山環境の再生と生態系の保全、人と自然がふれあえる場づくりに取り組みます。	地域創造部	◎	実施 ・自然環境学習の森を管理 ・保全・育成の会会議を実施 ・保全・育成の会全体活動を支援	・自然環境学習の森を管理 ・里山保全活動を実施 ・保全・育成の会会議を実施 ・保全・育成の会全体活動を支援				

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(3) 町民も楽しめる魅力的な場の創出	○於大まつり・産業まつりやコミュニティイベント等を充実させます。								
	177	・町を代表するまつりである「於大まつり」「産業まつり」を通して、住民が楽しみながらまちの魅力を再発見できる機会を創出します。	ふくし文化部 地域創造部	◎	実施 ・産業まつりにおいて、住民参加型産業PR企画実施(小学生クイズ等) ・於大まつりに住民の意見を取入れる策を検討	・産業まつりの出展者を公募し、新規出展者の募集を実施 ・住民の意見を募集するため、於大まつりで「あなたの夢於大まつりで叶えよう！」を実施 ・産業まつりとスポーツイベントを連携させた新たなイベントの開催を検討			
	178	・住民・民間発のイベントを支援します。	地域創造部	◎	検討 ・観光振興事業等支援補助を検討 ・各地区にコミュニティ推進協議会交付金を交付	実施 ・観光振興事業等支援補助を実施 ・各地区にコミュニティ推進協議会交付金を交付 ・にぎわい創出補助を検討 ・文化芸術イベント開催支援補助を検討			
	再掲	・コミュニティイベントへの支援を行い、地域コミュニティの強化を図ります。	地域創造部		実施				
	○於大公園などを活用した民間イベントを応援します。								
	179	・再整備事業により地域の声を反映させた於大公園の新たな魅力を発信します。	まちづくり部	◎	検討 ・町ホームページで再整備状況を発信	実施 ・町ホームページで再整備状況を発信 ・遊具広場のプレオープンイベントを実施			
	180	・於大公園や三丁公園、高根の森等を民間イベントに活用してもらいます。	地域創造部 まちづくり部	◎	検討 ・イベント等の周知方法を検討 ・於大公園等で民間イベントを実施	実施 ・イベント開催の手続き方法を分かりやすく改定し、町ホームページに掲載 ・於大公園等で民間イベントを実施 ・にぎわい創出補助を検討			
	再掲	・住民・民間発のイベントを支援します。	地域創造部		検討	実施			
	○公共交通を利用して地域の魅力を発信します。								
	181	・公共交通の運行時刻や経路に合わせた町内行事開催を進めます。	まちづくり部	○	検討 ・行政バス「う・ら・ら」のダイヤに合わせた町主催行事の検討	実施 ・行政バス「う・ら・ら」のダイヤに合わせた町主催行事を実施			
182	・公共交通を使ったイベントの開催を企画します。	まちづくり部	○	実施 ・行政バス「う・ら・ら」を利用したイベントを開催(だんつく見学)	・公共交通を使ったおでかけプランの周知(公共交通パンフレット)				
(4) すべての世代の居場所づくり	○若者が集うことができる場所や、高齢者と子どもと一緒に過ごせる居場所づくりを行います。								
	183	・地域における交流の機会づくりを支援します。	ふくし文化部 地域創造部	○	実施 ・集いの場運営団体の担い手の養成講座やスキルアップ研修、登録団体の周知等を実施	・集いの場運営団体の担い手の養成講座やスキルアップ研修、登録団体の周知等を実施 ・集いの場所として総合ボランティアセンターにおいてイベントを定期開催(七色茶房等)			
	184	・中学生から高齢者までの多世代が集う機会として「ひがしうら地域クラブ総合文化活動」を始めます。	ふくし文化部	◎	検討 ・吹奏楽クラブを参考に、実施方法を検討	実施 ・文化協会に指導者派遣を打診 ・指導者講習会を実施 ・総合文化クラブを実施			
	185	・東浦町に足りない機能・施設を把握し、整備・利活用を検討します。	政策企画部	◎	リスト作成 ・公共施設リスト作成準備 ・近隣市町で相互利用可能な公共施設を紹介	検討 ・公共施設リストを作成、展開・情報共有 ・近隣市町で相互利用可能な公共施設を紹介			
	186	・スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員等と協力し、幅広い世代が参加できるイベントを開催します。	ふくし文化部	◎	・スポーツ推進委員主催のニュースポーツ体験会を実施	・スポーツ推進委員主催のニュースポーツ体験会を実施 ・スポーツ協会等と協力して東浦マラソンを実施 ・FC刈谷と共同で、スポーツフェスタを実施			
	再掲	・児童館に、子どもだけでなく、高齢者はじめさまざまな方の「居場所」機能を持たせ、充実させます。	こども未来部		検討	実施			
	再掲	・老人憩の家を多世代交流の場にします。	ふくし文化部		実施				
	再掲	・放課後児童クラブなど各世代の居場所づくりにコミュニティの関わりを促進します。	地域創造部		検討				
再掲	・小学校を放課後児童クラブに活用するなど、公共施設の多面的利用を進めます。	こども未来部		検討		実施			

8. 国・県等と連携してまちをアップデート

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績					
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	
(1) 国の制度等を活用した町事業の実施	○企業版ふるさと納税やデジタル田園都市国家構想推進交付金等の国の制度等を積極的に活用します。			実施					
	187	・企業版ふるさと納税の拡大に向けた積極的なPRを実施します。	政策企画部	○	・民間企業を活用したPRを実施	・民間企業を活用したPRを実施 ・職員による各種イベントでの周知を実施 ・事業者への周知働きかけを実施 ・直接事業者へ支援を要請			
	188	・デジタル田園都市国家構想推進交付金をはじめとする国・県の補助金等を積極的に活用します。	政策企画部	○	・2024年度実施案件の申請事務を実施	・デジタル田園都市国家構想交付金の制度周知・活用促進【採択案件】 1 公式LINE機能拡充事業 2 公開型GIS導入事業 3 保育ICT化システム事業 4 東浦町に愛着が湧く社会科副読本をつくる ・国、県を始めとした交付金、補助金等を洗い出し、活用準備			
(2) 新しい課題解決を用いた	○国・県の実証実験への参加を検討するとともに、国・県・民間へのフィールド提供を進めます。			検討	準備	実施			
	再掲	・本町のフィールドをステーションAI、あいちデジタルヘルスコンソーシアムなどを通じてスタートアップ企業等へ提供し、公民連携で実証実験を行うことで、企業と行政が共に地域課題を解決していく仕組みを検討します。	地域創造部						
	189	・国・県や民間企業等とともに地域課題の解決に取り組みます。	地域創造部	○	・ステーションAIと連携したスタートアップ出張相談会を実施 ・経営課題等解決型企業等マッチング支援事業を実施 ・ウェルネスバレー推進協議会とステーションAIが相互連携・協力に関する覚書を締結	・ステーションAIと連携したスタートアップ出張相談会を実施 ・経営課題等解決型企業等マッチング支援事業を実施 ・ソフトバンク株式会社と包括連携を締結 ・AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM2024への参加 ・デジタルヘルスコンソーシアムへの参加 ・課題事項を整理し国・県と課題を共有、課題解決に向けた要望活動を実施			
	○国の動向を踏まえたDXの推進とマイナンバーカードの積極・高度利用を進めます。			実施					
	190	・国・県への実証実験の参加や、ベンダーが提供するサービスを活用し、DXを推進します。	政策企画部	◎	・ChatGPTを試験導入 ・Web版住宅地図を導入	・ChatGPTを導入 ・他ツール導入に向けて情報収集及び検討 ・議事録作成ツールを試験導入 ・データ分析ツールを試験導入 ・ペーパーレス会議システムの情報収集及び検討			
	191	・デジタルデバインドを解消するとともに町公式LINEの機能拡充を実施し、町民への積極的な情報発信をします。	政策企画部	○	・デジタルデバインド解消を目的に高齢者スマホ教室を実施 ・町公式LINEの機能拡充を検討	・町公式LINEの機能拡充を実施			
	192	・窓口の混雑緩和、円滑な案内を行うため、モニターやホームページ上に各手続きにおける待ち人数等を表示することができる番号案内表示システムを導入します。	総務部	◎	・モニターを設置(2024年2月から)	・モニターやホームページへの表示内容を改善			
193	・マイナンバーカードを用いて住民票の写しや印鑑登録証明書、所得証明等をコンビニエンスストア等で、交付可能とするサービスを実施します。	政策企画部 総務部	○	・コンビニ交付を行う証明書の種類等について検討	・証明書のコンビニ交付に向け準備(2026年3月予定)				
194	・マイナンバーカードの積極的な活用を検討します。	政策企画部 総務部	○	・マイナンバーカードの活用方法について情報収集を実施	・証明書のコンビニ交付に向け準備(2026年3月予定) ・書かない窓口の導入に向けて、情報収集を実施 ・マイナンバーカードを活用できる事務を検討				

政策	取組内容	担当部	進捗状況 ◎:順調 ○:概ね順調 △:進捗遅れ、方針転換	各年度の実績							
				2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)			
3 (まち・ひと・しごと創生)	○国内外の好事例を収集し、人口の維持・増加に向けて積極的な活用を検討します。										
	195	・将来人口見通しと国・県の総合戦略を踏まえ、新たなまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。	政策企画部	◎	・検討委員会にて2022年度の進捗状況の報告を実施	・検討委員会にて2023年度の進捗状況の報告を実施 ・第2期まち・ひと・しごと総合戦略を延長	検討	改訂			
	196	・人口減少に歯止めをかけるため、定住が選択される環境づくりを進めます。	政策企画部 地域創造部	○	・若者会議による地域への愛着醸成や三世代近居等定住促進補助を実施	・「ほどよい町」PRチラシの作成・配布による魅力発信を実施 ・三世代近居等定住促進補助を実施 ・東浦町で出生届を提出した方へオリジナル命名書の交付を実施 ・東浦町で婚姻届を提出した方へ結婚祝い品の贈呈を実施 ・東浦町de働く！暮らす！楽しむ！応援プロジェクト実施に向けた準備					
197	・他自治体との交流を増やし、他自治体の好事例を本町で展開します。	政策企画部	○	・他自治体の好事例の情報収集・検討 ・全国若手町村長会等全国の連携組織へ参加	・近隣自治体との人事交流を検討 ・デジタル田園都市国家構想交付金の他自治体の事例を研究 ・国や県との交流の際に好事例の収集						
4 (役場機能の強化・活性化)	○必要な人材の確保と外部人材の積極的な活用を進めます。										
	198	・過去に本町職員であった方を採用する試験や国、都道府県又は他の自治体の職員であった方を採用する試験を導入します。	政策企画部	◎	・カムバック採用及び公務員経験者採用を実施	・カムバック採用及び公務員経験者採用を実施					
	199	・安心して子育てをしながら職務に専念できるよう、子育て部分休暇(仮称)を導入するなど、働きやすい職場環境づくりを進めます。	政策企画部	○	・子育て部分休暇制度の導入を検討	・子育て部分休暇制度を実施 ・国、先進自治体の制度を研究					
	200	・新たな視点や専門知識を組織に導入するために、愛知県等からの派遣職員を配置します。また、職務に関連した知識及び技能を習得するため、愛知県等へ職員を派遣します。	政策企画部	◎	・愛知県派遣職員の配置を検討 ・愛知県へ実務研修生を派遣(1名)	・愛知県派遣職員を配置 ・愛知県へ実務研修生を派遣(1名)					
	再掲	・職員の町内居住手当の増額を検討します。	政策企画部				実施				
	再掲	・児童福祉、スポーツ、文化行政のあり方をはじめ、機動的に動ける組織への改革を検討します。	政策企画部				実施				
	再掲	・他自治体との交流を増やし、他自治体の好事例を本町で展開します。	政策企画部				実施				
	再掲	・性別や年齢にとらわれず、町職員を採用します。	政策企画部				実施				
	○職員がどこでも働ける環境をつくり、地域に飛び出します。										
	201	・モバイル端末を積極的に活用し、職員が町内どこでも働けるようにします。	政策企画部	◎	・テレワークPCの活用を推進	・出先機関での通信環境整備を検討					
202	・ダイヤルインの導入や、携帯電話(スマートフォン)の内線利用を検討します。	政策企画部 総務部	○	・内線スマートフォン導入を検討	・ダイヤルイン導入を検討 ・内線スマートフォン導入を検討	実施					
再掲	・事務・事業を進める上でプロジェクトチームを活用します。	政策企画部				実施					